



イラスト：政府広報オンライン

救命講習を受けましょう

皆さんの目の前で家族や職場の仲間が突然倒れたらどうしますか？
現場に居合わせた市民の皆さんが、速やかに心肺蘇生などの応急手当を行うことで助かる命があります。
市消防本部では、皆さんが適切に応急手当を行えるように救命講習を実施しています。

<応急手当の重要性>

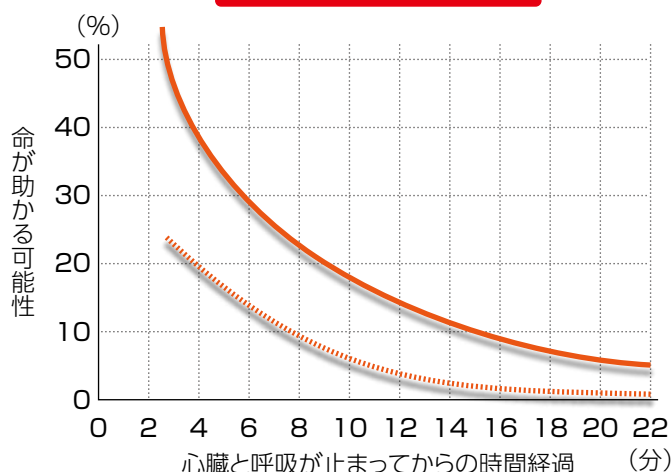
重大な事故は、いつ、どこで、何が原因で起こるか分かりません。心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、救急隊を待つ間に居合わせた市民が心肺蘇生などを行うと救命の可能性が2倍程度に保たれることが分かっています。

例えば、もし3分以内に現場に居合わせた人が心肺蘇生法を開始したならば、その人が助かる可能性は50%以上にも上昇すると言われています。

<まだまだ低い応急手当の実施状況>

総務省消防庁の統計では、搬送された全国の心肺停止傷病者（平成27年）のうち、家族などによる応急手当の実施割合は48.1%。一方、亀山市の心肺停止傷病者（平成28年）への応急手当の実施割合は38.7%と、全国平均より低い実施率となっています。

応急手当と救命曲線



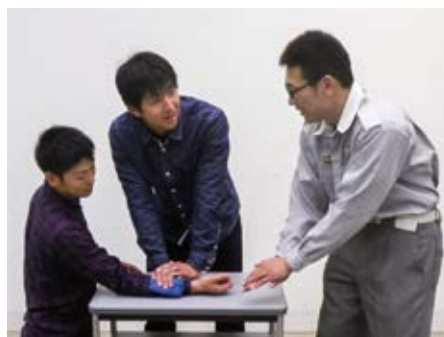
— 居合わせた人が救命処置をした場合
- - - 救急車がくるまで何もしなかった場合

グラフ：普通救命講習テキスト

<市では救命講習を実施しています>

市消防本部では、市民の皆さんのご要望に合わせた救命講習を実施しています。
大切な人の命を救うためにも、ぜひ受講してください。また、過去に受講したことのある人も、応急手当の知識・技能を忘れることなく維持向上するために、定期的（長くても2年～3年に1回程度）に受講することをお勧めします。

救急講習（一般講習） 時間や内容など、受講を希望する人のご要望に合わせた救急講習ができます



●次の内容の救命講習も行っています

普通救命講習Ⅰ	3時間	主に成人に対する	・心肺蘇生法
普通救命講習Ⅱ	4時間	主に成人に対する	・自動体外式除細動器（AED）の操作
普通救命講習Ⅲ	3時間	主に小児などに対する	・止血法
上級救命講習	8時間	普通救命講習の内容および傷病者管理法・外傷の手当・搬送法	

救命講習の問合せ・申込先 亀山消防署（☎82-9493）、関分署（☎96-1780）、北東分署（☎84-1096）

市消防本部からのお知らせトピックス

救急車の適正な利用をお願いします！

救急要請のなかには、緊急性の低いと思われるケースが見受けられます。全国では次のようなケースで救急車が呼ばれたことがありました。

- ・蚊に刺されてかゆい
- ・海水浴に行って、日焼けした足がヒリヒリする
- ・紙で指先を切った。血は止まっているが...
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・今日入院予定日だから、病院に行きたい
- ・ヘルパーを呼んだが来てくれなかったので、代わりに呼んだ
- ・病院で長く待つのが面倒なので、救急車を呼んだ

市民の皆さんへのお願い

命にかかわるお願いです。緊急に搬送する必要のある人への対応が遅れることのないように、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。



「救急医療情報システム」をご利用ください！

【救急車を呼ぶ前に考えよう】

救急車を呼ぶほどではないが、診察してもらえる病院が分からないなど、困ってしまうときがあります。そのようなときは、救急医療情報システムなどをご利用ください。

救急医療情報システム

- 医療情報センター（対人案内） ☎82-1199
- 自動案内 ☎0800-100-1199 [通話料無料]
(通話終了後に診療状況をファクスで受信することも可)
- パソコン URL <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>
- 携帯電話 URL <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

三重県 救急医療情報システム

検索

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

小児救急医療相談事業

- みえ子ども医療ダイヤル ☎#8000 または ☎059-232-9955



市では「災害情報」を案内しています！

火災などの災害情報（軽易なものは除く）を自動音声案内や市消防本部ホームページに掲載しています。ご活用ください。

- 自動音声案内 ☎82-9555
- 市消防本部ホームページ
URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>

亀山市 災害情報

検索



新たに救急救命士の資格を取得した隊員

～皆さんの安心安全のために～



國分 亮太
救急救命士
(亀山消防署)

憧れていた救急救命士になり、嬉しく思っています。今後は、より多くの現場で救命活動を行い、市民の皆さんから信頼され、頼っていただけるような救急救命士を目指して頑張ります。